

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 先 第 260 号	氏 名	一色 圭佑
審査委員	主査 近藤 光男 教授 副査 鎌田 磨人 教授 副査 上月 康則 教授		
学位論文題目			
尼崎運河水質浄化施設から得られる生態系サービスに関する研究			
審査結果の要旨			
<p>本研究は市民協働により持続的に活用される沿岸域のグリーンインフラを扱ったものである。グリーンインフラの持続的活用がされている場所での、新しい生態系サービスの成り立ちを示すことができた。大阪湾湾奥に位置する尼崎運河に設置された水質浄化施設から得られる生態系サービスについて、物質循環の観点から科学的な手法に基づき水質浄化効果を定量的に示している。また、水質浄化機能を向上する手法として、市民協働による効果を定量的に示し、市民との合意形成を繰り返し行い、新たな活動に発展させる起点となる順応的管理を行っている。市民協働活動は受動的に関わるイベント型活動よりも能動的に関わる自主検討型活動の方が、今後の活動参加意欲が高まることが示唆された。尼崎運河の生態系サービスは市民協働活動によって充実し、より豊かさを享受することが可能となった。新規に始まった活動になるほど地域の特色を活かした内容の活動へと変化しており、各活動主体の活動目的が「水質浄化」から「水質浄化を核とした環境まちづくり」へと変化していたことも持続可能な社会を形成する上での市民の意識変化を促すことにつながった。</p> <p>以上本研究は、次世代の幸福感あふれるコミュニティデザインの先鞭をつける実装研究であり、本論文は博士（工学）の学位授与に値するものと判定する。</p> <p>なお、本論文の審査には、山中亮一講師の協力を得た。</p>			